

特定健康診査・特定保健指導実績報告書

平成27年度版

(平成26年度実績)

東京都北区

区民部国保年金課



目 次

第 1 章 計画と目標

1	特定健診等実施計画	1 頁
2	目標設定	1 頁
3	人口・被保険者推移	2 頁
4	実施機関及び実施方法	3 頁
5	案内方法等	4 頁
6	事業の所管	4 頁

第 2 章 特定健診・特定保健指導の実施結果

1	特定健診の実施結果	
①-1	受診率	5 頁
①-2	男女別・年齢別の受診率	6 頁
②-1	受診結果	7 頁
②-2	男女別の受診結果	9 頁
②-3	年齢別受診結果	9 頁
③	服薬の状況	10 頁
④	該当項目別の状況	11 頁
2	特定保健指導の実施結果	
①	利用率及び実施率	13 頁
②	腹囲・体重の変化	15 頁
3	メタボリックシンドローム該当者の減少率	16 頁
4	まとめ	17 頁

第1章 計画と目標

1 特定健診等実施計画

平成20年3月、「東京都北区国民健康保険特定健診等実施計画」を平成24年度までの5年を1期として策定した。

計画改定の年に当たる平成25年5月、「東京都北区国民健康保険特定健診等実施計画第2期」を策定した。第2期は、平成29年度までとしている。

2 目標設定

国が定めた目標値によれば、平成24年度における国民健康保険被保険者の特定健診受診率を65%、特定保健指導実施率を45%とし、メタボリックシンドロームの該当者・予備群を平成20年度に比べ10%減少させることとしている。

北区における年度ごとの目標率は、国が「特定健康診査等基本指針」で示した目標率を基準に下表のとおりとした。

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
特定健診目標率	45%	50%	55%	60%	65%
特定保健指導目標率	10%	15%	25%	35%	45%
内臓脂肪症候群の該当者・予備群の減少率	—	—	—	—	10%減少

第2期の目標値は、国が定めた目標率によれば、平成29年度における特定健診受診率を60%、特定保健指導実施率を60%としている。

北区における年度ごとの目標率は、国が「特定健康診査等基本指針」で示した目標率を基準にした下表のとおりとした。

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
特定健診目標率	45%	47%	49%	51%	60%
特定保健指導目標率	25%	29%	33%	37%	60%
内臓脂肪症候群の該当者・予備群の減少率	—	—	—	—	10%減少

3 人口・被保険者推移

(1) 北区の人口推移

単位（人）

	23年4月	24年4月	25年4月	26年4月	27年4月
住基登録者数	317,598	317,663	333,406	335,818	338,854
外国人登録者数	15,863	15,095			
計	333,461	332,758	333,406	335,818	338,854

（人口統計表：平成27年4月1日より）

※ 平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、平成25年度以降は住基登録者数に外国人人口を含みます。

(2) 北区国保の被保険者の推移（40～74歳）と特定健診及び特定保健指導の目標者数

単位（人）

	23年4月	24年4月	25年4月	26年4月	27年4月
被保険者数（男）	32,442	32,310	32,076	31,756	31,185
被保険者数（女）	35,316	34,957	34,474	33,914	33,056
被保険者数（計）	67,758	67,267	66,550	65,670	64,241
特定健診受診目標率	60%	65%	45%	47%	49%
特定健診目標者数	40,655	43,724	29,948	30,865	31,478
特定保健指導目標率	35%	45%	25%	29%	33%
特定保健指導目標者数	3,557	4,919	973	1,164	1,350

（被保険者数は、「平成27年度版 北区の国保」より）

4 実施機関及び実施方法

特定健診及び特定保健指導の一部は、被保険者が身近な場所で気軽に受けることができ、かつ保険者の事務の効率が図れるように東京都北区医師会に委託した。

(1) 特定健診の委託先と実施場所

- ① 委託先 : 東京都北区医師会
- ② 実施場所 : 東京都北区医師会に加入する各医療機関 (134医療機関)
- ③ 実施時期 : 6月2日(月)～8月30日(土)
- ④ 特定健診の自己負担金
健診費用は、医療費に自己負担があるのと同様に、本来は、受診者が一部を負担することが原則であるが、これまで基本健診を無料で実施してきたことなどにより被保険者の自己負担金を無料とした。
- ⑤ 検査項目
: 基本的な健診項目
問診・身長・BMI・腹囲測定・理学的検査・血圧測定・肝機能検査・
血中脂質検査・血糖検査・尿検査
: 詳細な健診項目(医師が必要と判断した方)
眼底検査・心電図
: 肝炎検診(40歳)
: 追加健診項目
血液一般検査・尿潜血・血清クレアチニン・血清尿酸・血清アルブミン
(65歳以上の対象者)・胸部X線
※ おたっしゃ健診(65歳以上の対象者)は、25年度で終了。

(2) 特定保健指導の委託先と実施場所

- ① 委託先 : 東京都北区医師会に加入する協力医療機関(8医療機関)
外部委託機関(プロポーザルによる)
- ② 実施場所 : 委託先医療機関及び外部委託機関(区内公共施設を使用)
- ③ 実施時期 : 8月～11月に初回面接を実施。その後、約6か月にわたり指導を行う。
- ④ 特定保健指導の自己負担金
国は、特定保健指導についても自己負担金を求めることができるとしているが、指導を受けやすいように利用者の自己負担金を無料とした。
- ⑤ 指導内容 : 動機付け支援
: 積極的支援

5 案内方法等

北区ニュース及びホームページに掲載し、対象者に特定健診受診券、特定保健指導利用券を個別に送付した。

特定健診に関しては、9月以降に転入もしくは国保の新規加入した方へ、事前の案内として27年3月に「27年度の特定健康診査のお知らせ」を送付した。

前年度の特定健康診査を受診していない45歳未満の方を対象に、健診実施期間中に「特定健康診査のご案内」（はがき）を送付し、受診勧奨を行った。

なお、特定保健指導に関しては、電話による利用勧奨を実施し、普及啓発と同時に利用予約受付を実施した。

6 事業の所管

本事業は、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、国保年金課が所管する事業であるが、健診事業を一元化して、区民にわかりやすく効率的な事業とする必要から、平成26年度も特定健診は「健康いきがい課」に執行を委任した。

第2章 特定健診・特定保健指導の実施結果

1 特定健診の実施結果

①-1 受診率¹

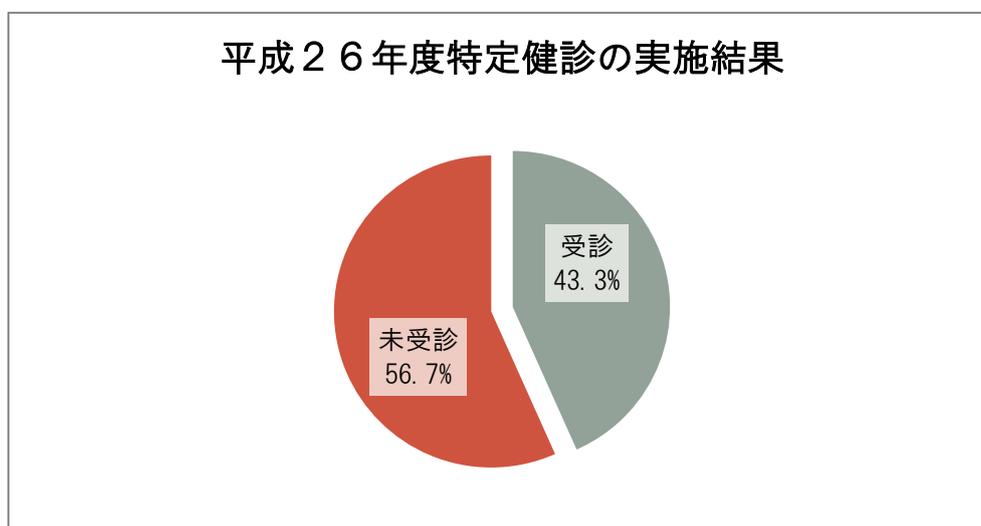
特定健診の受診率は、前年度（42.5%）を0.8ポイント上回り43.3%であった。前年度に比べ健診対象者が2.3ポイント減少したが、受診率は、男性女性とも0.9ポイント増加した。

《平成26年度》

健診対象者（人）			受診者数（人）			受診率		
男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
32,956	34,841	67,797	11,956	17,427	29,383	36.3%	50.0%	43.3%

《平成25年度》

健診対象者（人）			受診者数（人）			受診率		
男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
33,577	35,796	69,373	11,889	17,572	29,461	35.4%	49.1%	42.5%



¹ 北区特定健診・特定保健指導事業の実施者数は、年度途中での加入・脱退等異動者（法定報告では除外される）を含めた実施者数である。健診対象者は、受診券発行数とする。

【参考】特定健診受診者数・受診率（法定報告²）

年度	健診対象者数（人）			受診者数（人）			受診率		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
26	28,994	30,579	59,573	10,845	15,810	26,655	37.4%	51.7%	44.7%
25	29,554	31,353	60,907	10,843	16,045	26,888	36.7%	51.2%	44.1%

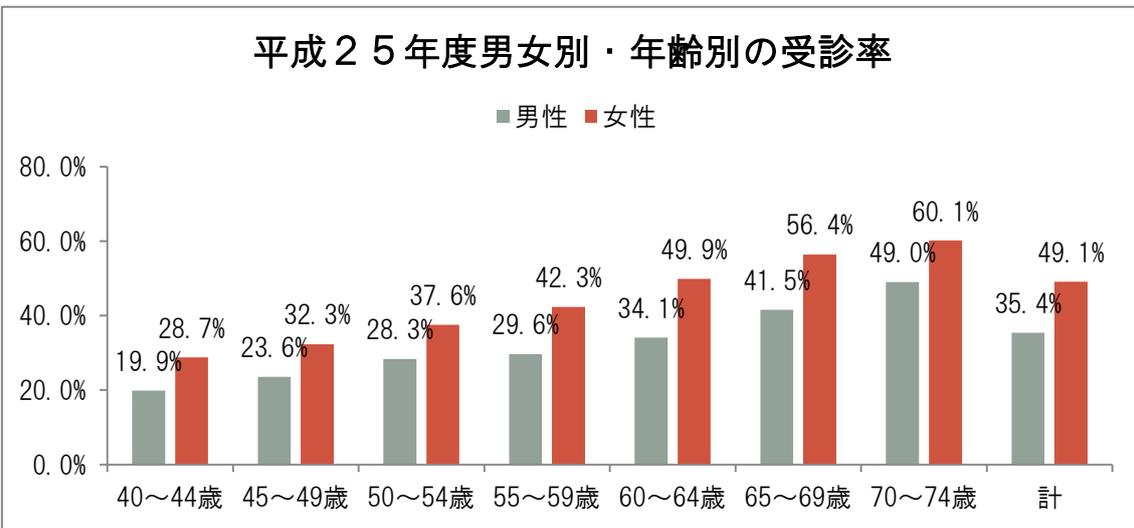
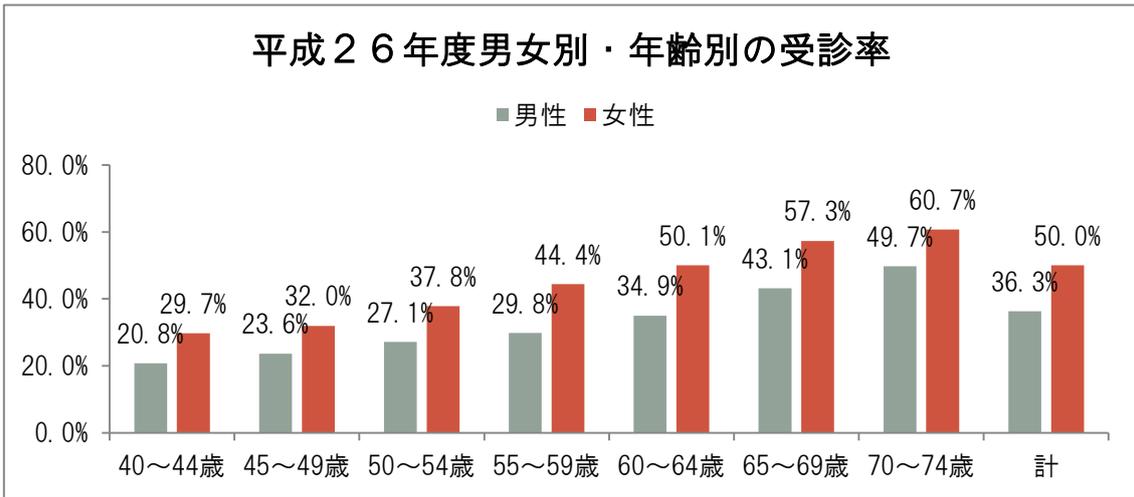
法定報告では、北区の平成26年度の受診率は、44.7%であり、23区中7位であった。目標値には届かなかったものの、東京都の特別区計受診率42.3%を上回った。（東京都福祉保健局保健政策部「平成27年12月21日付け平成26年度特定健診・特定保健指導実施率の推移」による）

①-2 男女別・年齢別の受診率

全ての年代において女性の受診率が高い。また、年齢が上がるにつれて男女ともに受診率が上がる。

年齢	健診対象者数（人）			受診者数（人）			割合		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
40～44歳	3,856	3,105	6,961	802	923	1,725	20.8%	29.7%	24.8%
45～49歳	3,505	2,920	6,425	828	933	1,761	23.6%	32.0%	27.4%
50～54歳	3,034	2,860	5,894	823	1,082	1,905	27.1%	37.8%	32.3%
55～59歳	2,874	2,815	5,689	856	1,249	2,105	29.8%	44.4%	37.0%
60～64歳	4,455	4,926	9,381	1,557	2,466	4,023	34.9%	50.1%	42.9%
65～69歳	7,352	8,358	15,710	3,172	4,790	7,962	43.1%	57.3%	50.7%
70～74歳	7,880	9,857	17,737	3,918	5,984	9,902	49.7%	60.7%	55.8%
計	32,956	34,841	67,797	11,956	17,427	29,383	36.3%	50.0%	43.3%

² 法定報告とは、加入者のうち健診実施年度中に40～74歳となる者（実施年度中に75歳になる75歳未満の者も含む）で、かつ当該実施年度の1年間を通じて加入している者（年度途中での加入・脱退等異動のない者）を対象とする。そのため、前頁の実施結果と数値が相違する。なお、妊産婦その他の厚生労働大臣が定める者は、この対象から除く。



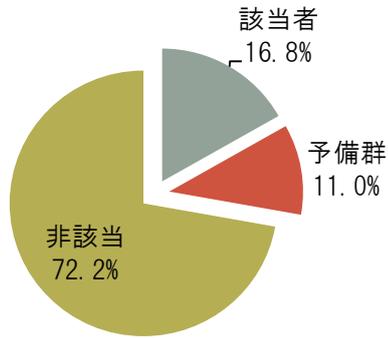
②-1 受診結果

特定健診の結果、受診者に占めるメタボリックシンドローム該当者及びその予備群の割合は27.8%であった。

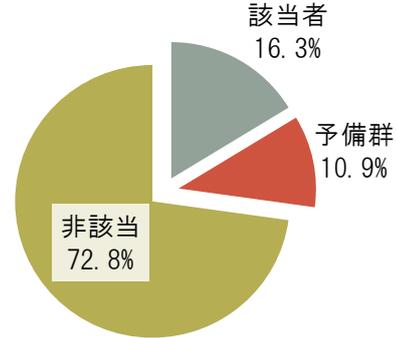
※非該当の中には、血液検査ができなかった等の理由により判定不能の者を含む。

該当者 (人)	予備群 (人)	非該当 (人)	受診者数 計	割合		
				該当者	予備群	非該当
4,930	3,241	21,212	29,383	16.8%	11.0%	72.2%

平成26年度メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合



平成25年度メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合



年齢	メタボ該当者 (人)			メタボ予備群者数 (人)			非該当者数 (人)			合計
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	
40～44歳	113	14	127	141	35	176	548	874	1,422	1,725
45～49歳	163	37	200	162	52	214	503	844	1,347	1,761
50～54歳	198	61	259	161	51	212	464	970	1,434	1,905
55～59歳	237	75	312	158	64	222	461	1,110	1,571	2,105
60～64歳	456	206	662	291	144	435	810	2,116	2,926	4,023
65～69歳	943	491	1,434	559	306	865	1,670	3,993	5,663	7,962
70～74歳	1,179	757	1,936	706	411	1,117	2,033	4,816	6,849	9,902
計	3,289	1,641	4,930	2,178	1,063	3,241	6,489	14,723	21,212	29,383

★メタボリックシンドローム判定基準

健診区分		検査項目	判定値	メタボリックシンドローム判定	
A	計測	腹囲	男85以上	該当者	予備軍
			女90以上		
B	血圧	収縮期	130以上	Aに該当し、かつB～Dのうち2項目以上に該当	Aに該当し、かつB～Dのうち1項目に該当
		拡張期	85以上		
または、高血圧の服薬中					
C	脂質代謝	中性脂肪	150以上		
		または			
		HDLコレステロール	40未満		
または、高脂血症の服薬中					
D	糖代謝	血糖	110以上		
		または			
		ヘモグロビンA1c(NGSP)	6.0以上		
または、糖尿病の服薬中					

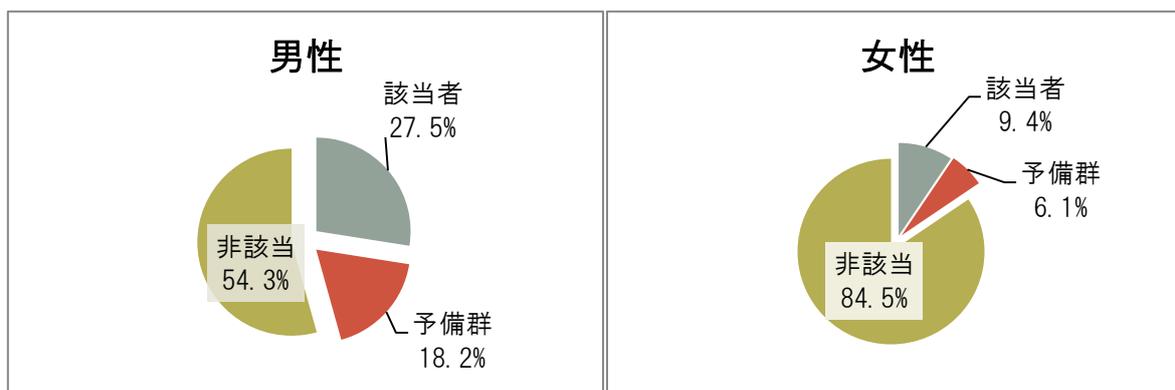
②-2 男女別の受診結果

男性受診者は、45.7%、女性受診者は、15.5%がメタボリックシンドローム該当者及びその予備群であった。40～74歳男性の約2.2人に1人、40～74歳女性の約6.5人に1人が該当または予備群となる。

国の調査結果（※）では、40～74歳男性の約1.9人に1人、40～74歳女性の約5.6人に1人が該当または予備群となる。

（※）「平成25年国民健康・栄養調査結果」による

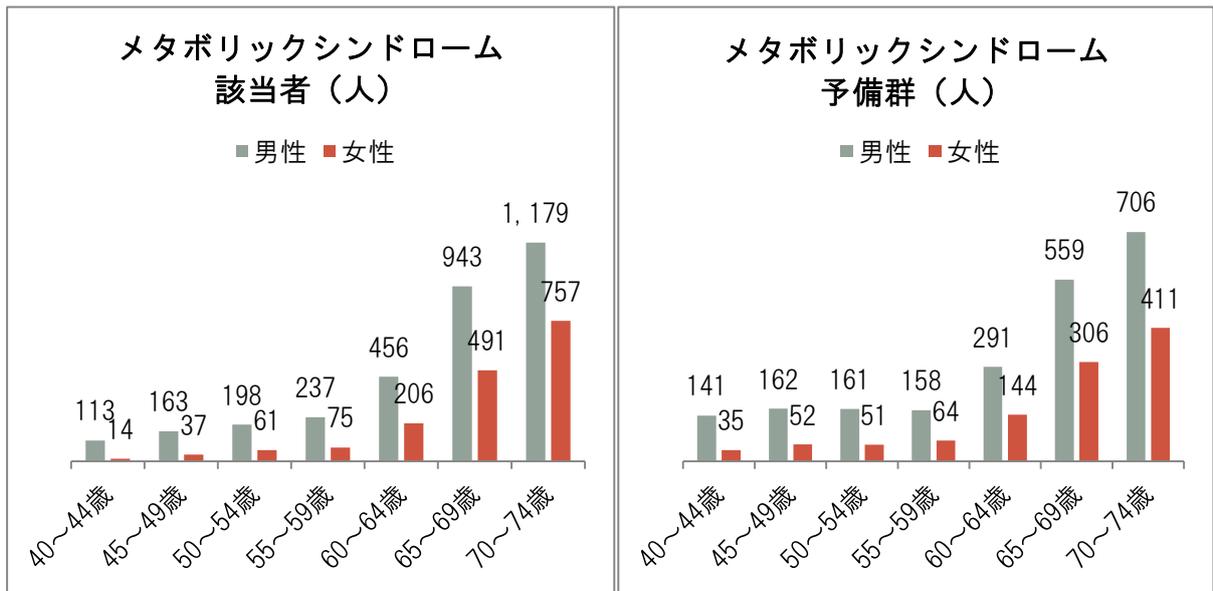
	該当者(人)	予備群(人)	非該当者数(人)	受診者計	割合		
					該当者	予備群	非該当
男性	3,289	2,178	6,489	11,956	27.5%	18.2%	54.3%
女性	1,641	1,063	14,723	17,427	9.4%	6.1%	84.5%



②-3 年齢別受診結果

特定健診の受診率は、女性が男性よりも高いが（P5参照）、メタボリックシンドローム該当者及びその予備群の人数は、全ての年代において男性が女性を上回った。

年齢	メタボリックシンドローム						割合（分母は受診者数）					
	該当者（人）		予備群（人）		該当者+予備群（人）		該当者		予備群		該当者+予備群	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
40～44歳	113	14	141	35	254	49	14.1%	1.5%	17.6%	3.8%	31.7%	5.3%
45～49歳	163	37	162	52	325	89	19.7%	4.0%	19.6%	5.6%	39.3%	9.5%
50～54歳	198	61	161	51	359	112	24.1%	5.6%	19.6%	4.7%	43.6%	10.4%
55～59歳	237	75	158	64	395	139	27.7%	6.0%	18.5%	5.1%	46.1%	11.1%
60～64歳	456	206	291	144	747	350	29.3%	8.4%	18.7%	5.8%	48.0%	14.2%
65～69歳	943	491	559	306	1,502	797	29.7%	10.3%	17.6%	6.4%	47.4%	16.6%
70～74歳	1,179	757	706	411	1,885	1,168	30.1%	12.7%	18.0%	6.9%	48.1%	19.5%

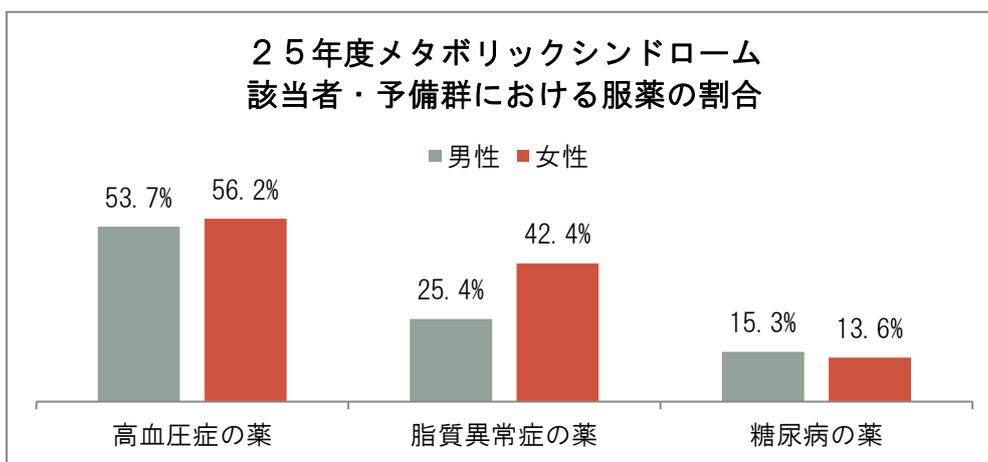
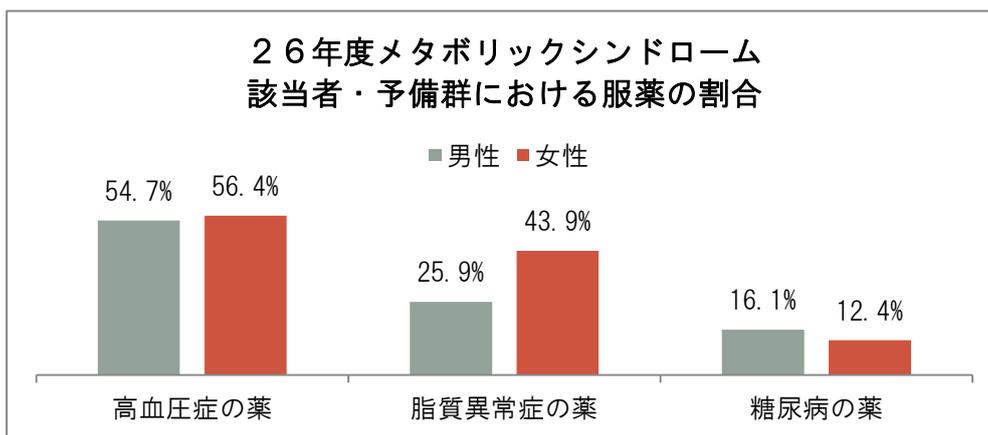


③服薬の状況

メタボリックシンドローム該当者及びその予備群のうち、服薬の状況は下記のとおりである。

- 男女ともに約半数を超える方が高血圧症の薬を服用している。
- 脂質異常症の薬を服用している方の割合は、女性が男性の約1.7倍である。
- 糖尿病の薬を服用している方の割合は、男性が3.7%高くなっている。

服薬の種類	服薬者 (人)		割合 (分母は男女別のメタボリックシンドローム 該当者+予備群の合計人数)	
	男性	女性	男性	女性
高血圧症の薬	2,990	1,526	54.7%	56.4%
脂質異常症の薬	1,415	1,188	25.9%	43.9%
糖尿病の薬	879	334	16.1%	12.4%



④該当項目別の状況

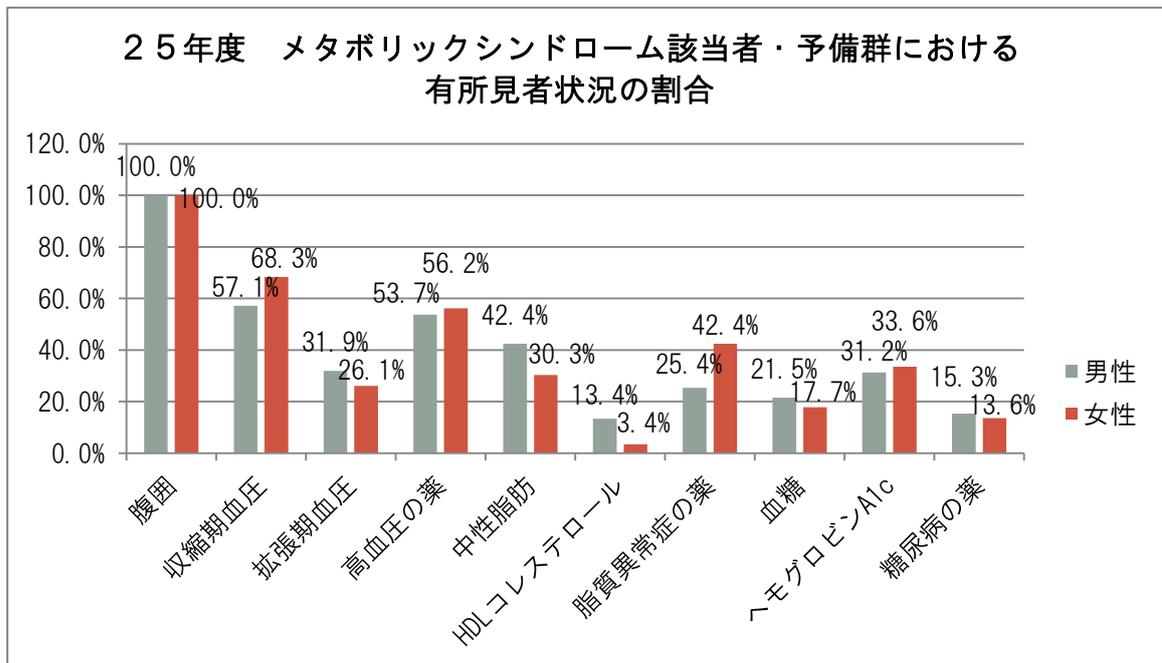
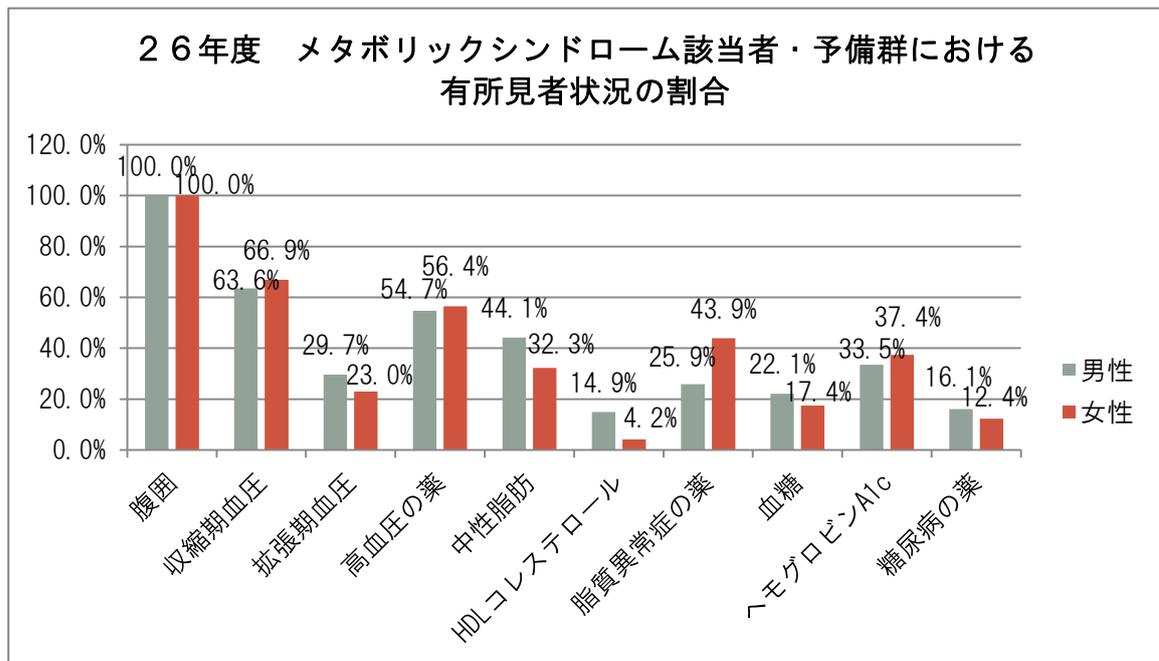
メタボリックシンドローム該当者及びその予備群のうち、各項目に該当した人数と割合は、次のとおりである。

昨年同様に血圧に関する事項に該当する者が多かった。

単位（人）

	腹囲	収縮期 血圧	拡張期 血圧	高血圧 の薬	中性脂肪	HDLコレ ステ ロール	脂質異常 症の薬	血糖	ヘモグロ ビンA1c (NGSP)	糖尿病の 薬
	男85以上 女90以上	130以上	85以上	服薬中	150以上	40未満	服薬中	110以上	6.0以上	服薬中
男性（人）	5,467	3,475	1,622	2,990	2,412	817	1,415	1,208	1,831	879
女性（人）	2,704	1,809	621	1,526	873	114	1,188	471	1,012	334

	割合（分母は男女別のメタボリックシンドローム該当者＋予備群の合計人数）									
	腹囲	収縮期 血圧	拡張期 血圧	高血圧 の薬	中性脂肪	HDLコレ ステ ロール	脂質異常 症の薬	血糖	ヘモグロ ビンA1c	糖尿病の 薬
男性	100.0%	63.6%	29.7%	54.7%	44.1%	14.9%	25.9%	22.1%	33.5%	16.1%
女性	100.0%	66.9%	23.0%	56.4%	32.3%	4.2%	43.9%	17.4%	37.4%	12.4%



2 特定保健指導の実施結果

① 利用率及び実施率³

特定保健指導の対象者に、利用券を交付した。また、電話による利用勧奨と同時予約受付制により、多くの対象者に特定保健指導の啓発をおこなった。

積極的支援は、利用率は前年度と変わらないが、継続率は約17.5ポイント増え、実施率は3.6ポイントの増加となった。一方、動機づけ支援は、前年度に比べ利用率が3.7ポイント減少し、実施率は3.4ポイント減少した。保健指導全体の利用状況は、前年度に比べ、利用率は2.5ポイント減、実施率は1.2ポイント減となった。

《平成26年度》

単位（人）

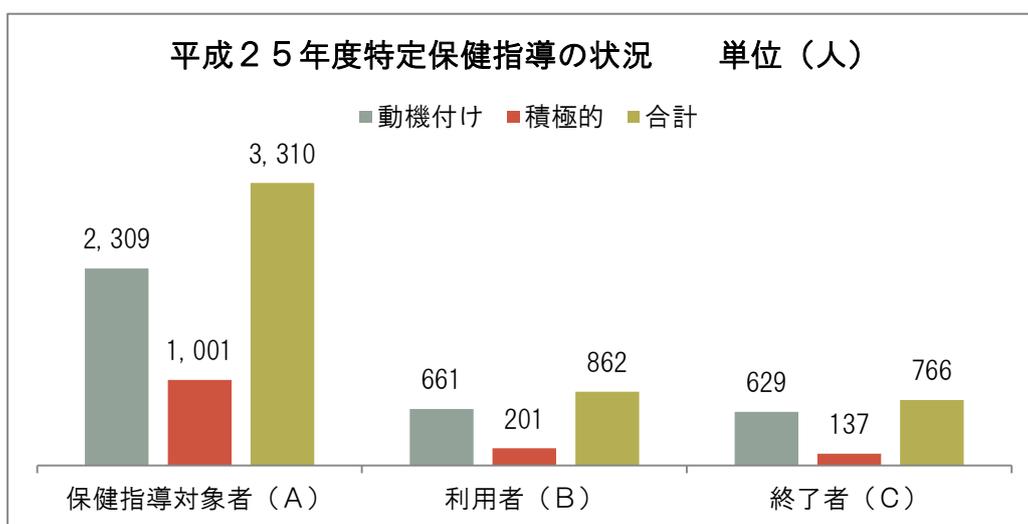
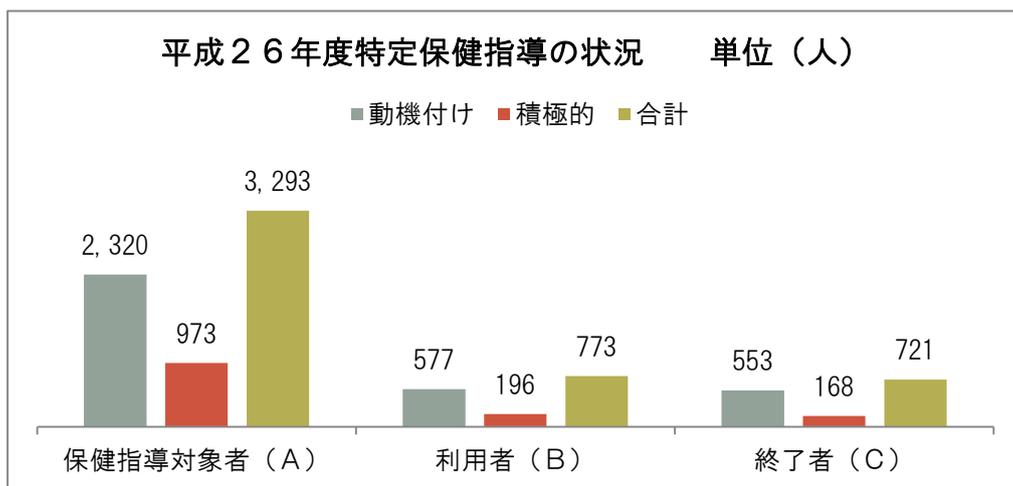
支援区分	保健指導対象者（A）	利用者（B）	終了者（C）	利用率（B/A）	継続率（C/B）	実施率（C/A）
動機付け	2,320	577	553	24.9%	95.8%	23.8%
積極的	973	196	168	20.1%	85.7%	17.3%
合計	3,293	773	721	23.5%	93.3%	21.9%

《平成25年度》

単位（人）

支援区分	保健指導対象者（A）	利用者（B）	終了者（C）	利用率（B/A）	継続率（C/B）	実施率（C/A）
動機付け	2,309	661	629	28.6%	95.2%	27.2%
積極的	1,001	201	137	20.1%	68.2%	13.7%
合計	3,310	862	766	26.0%	88.9%	23.1%

³ 北区特定健診・特定保健指導事業の実施者数は、年度途中での加入・脱退等異動者（法定報告では除外される）を含めた実施者数である。保健指導対象者は、利用券発行数とする。



【参考】特定保健指導終了者数・実施率（法定報告⁴）

年度	指導対象者数（人）			指導終了者数			実施率		
	動機付け	積極的	計	動機付け	積極的	計	動機付け	積極的	計
26	2,094	890	2,984	514	160	674	24.5%	18.0%	22.6%
25	2,110	909	3,019	589	172	761	27.9%	18.9%	25.2%

法定報告では、北区の平成26年度指導実施率は、22.6%であり、23区中3位であった。目標値には届かなかったものの、東京都の特別区計実施率15.2%を上回った。（東京都福祉保健局保健政策部「平成27年12月21日付け平成26年度特定健診・特定保健指導実施率の推移」による）

⁴ 法定報告とは、加入者のうち健診実施年度中に40～74歳となる者（実施年度中に75歳になる75歳未満の者も含む）で、かつ当該実施年度の1年間を通じて加入している者（年度途中での加入・脱退等異動のない者）を対象とする。そのため、前頁の実施結果と数値は相違する。なお、妊産婦その他の厚生労働大臣が定める者は、この対象から除く。

② 腹囲・体重の変化

特定保健指導終了者の約 53～60%に体重または腹囲減少の効果が見られ、体重・腹囲ともに減少した者は約43%であり、特定保健指導の効果は大きい。

なお、体重が減った者の平均は、動機付け支援は2.4kg、積極的支援は3.3kgの減で、腹囲が減った者の平均は、動機付け支援は4.5cm、積極的支援は5.2cmの減であった。

≪平成26年度≫

単位（人）

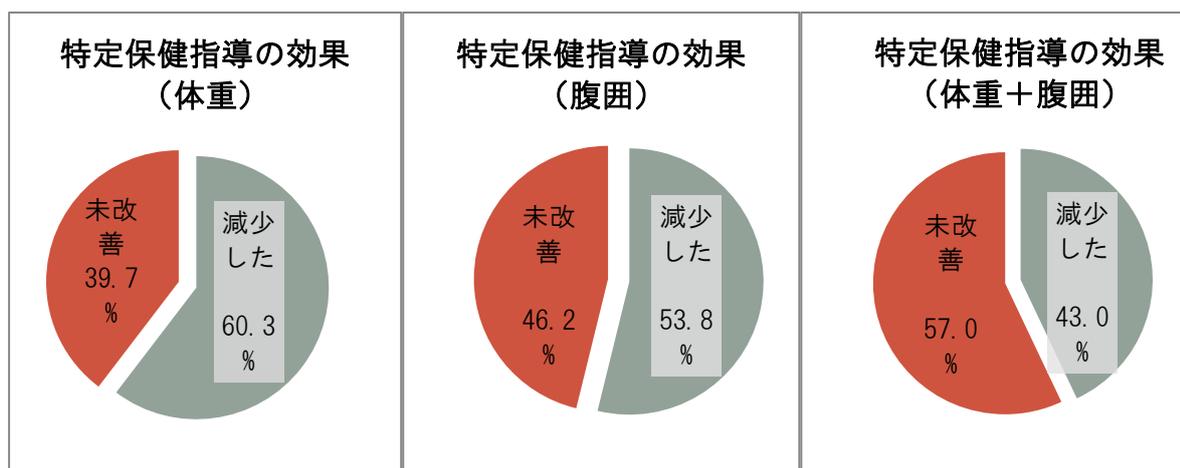
特定保健指導終了者	計	体重が減少した者		腹囲が減少した者		両方減少した者	
	721	435	60.3%	388	53.8%	310	43.0%
動機付け支援	553	326	59.0%	285	51.5%	226	40.9%
積極的支援	168	109	64.9%	103	61.3%	84	50.0%

≪平成25年度≫

単位（人）

特定保健指導終了者	計	体重が減少した者		腹囲が減少した者		両方減少した者	
	766	440	57.4%	403	52.6%	292	38.1%
動機付け支援	629	344	54.7%	313	49.8%	214	34.0%
積極的支援	137	96	70.1%	90	65.7%	78	56.9%

＜平成26年度 体重・腹囲の変化＞

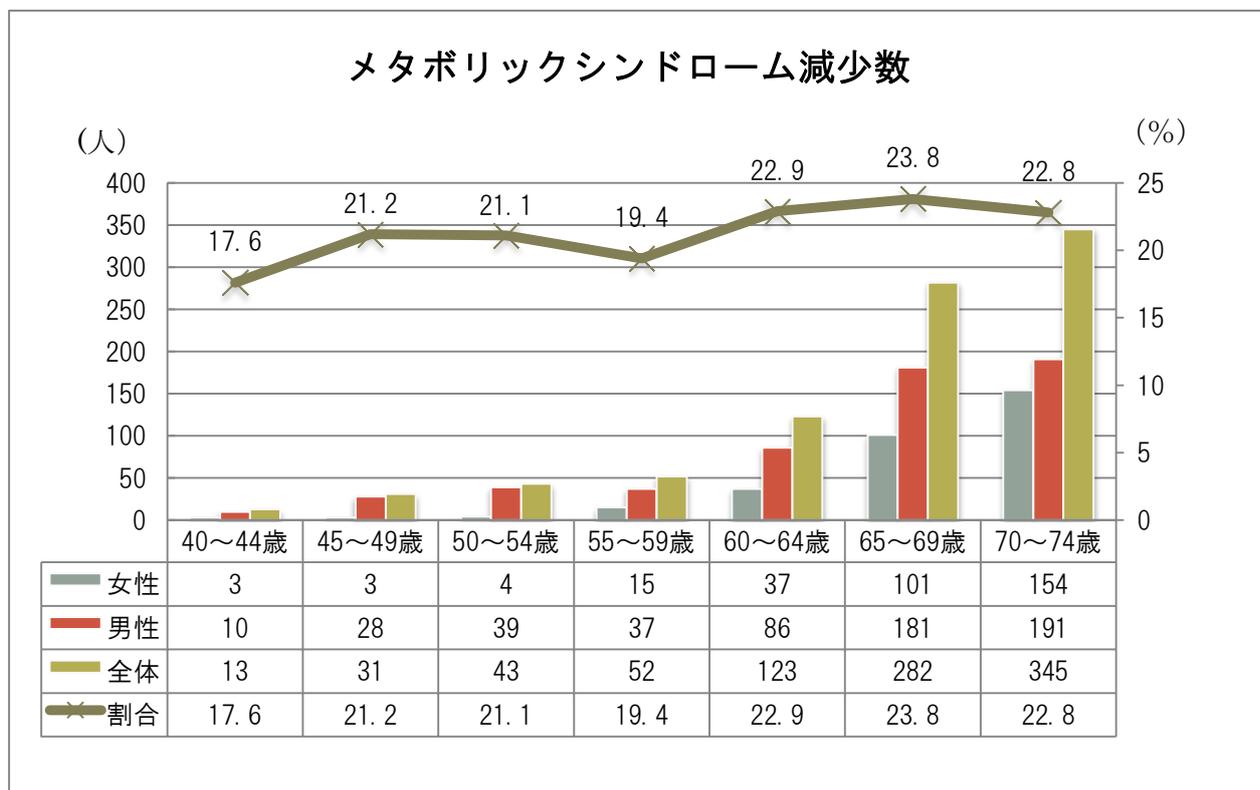


3 メタボリックシンドローム該当者の減少率（法定報告）

25年度の健診結果でメタボリックシンドロームに該当者し、かつ、26年度に特定健診を受診した者（下表（A））のうち、該当者から非該当になった者は12.3%となった。

さらに、該当者から予備群に改善した者10.3%を加えると、約22.6%が前年度から状況が改善している。

年齢区分	25年度 メタボリックシンドローム該当者数（A）			（A）のうち26年度の 予備群者数（B）						（A）のうち26年度の該当者・予備 群に該当しなくなった者の数（C）						減少率 （B）+（C）
	男性		女性	男性		女性		計		男性		女性		計		計
	人	人	人	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	%
	人	人	人	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	%
40～44	66	8	74	4	6.1	3	37.5	7	9.5	6	9.1	0	0.0	6	8.1	17.6
45～49	122	24	146	17	13.9	1	4.2	18	12.3	11	9.0	2	8.3	13	8.9	21.2
50～54	170	34	204	21	12.4	1	2.9	22	10.8	18	10.6	3	8.8	21	10.3	21.1
55～59	202	66	268	24	11.9	7	10.6	31	11.6	13	6.4	8	12.1	21	7.8	19.4
60～64	380	157	537	52	13.7	7	4.5	59	11.0	34	8.9	30	19.1	64	11.9	22.9
65～69	784	403	1,187	90	11.5	38	9.4	128	10.8	91	11.6	63	15.6	154	13.0	23.8
70～74	935	577	1,512	97	10.4	42	7.3	139	9.2	94	10.1	112	19.4	206	13.6	22.8
計	2,659	1,269	3,928	305	11.5	99	7.8	404	10.3	267	10.0	218	17.2	485	12.3	22.6



4 まとめ

平成26年度も特定健診の結果、男性は約2人に1人、女性は約6人に1人がメタボリックシンドロームの該当者又はその予備群であった。

しかし、特定保健指導の実施により利用者の5割以上の方々に体重や腹囲の減少が見られたことは大きな成果であり、今後も利用率の向上により区民の健康に寄与するという目標を推進していく。

25年度に比べて、特定健診の受診率は上昇したが、特定保健指導の実施率は減少した。特定保健指導を利用しない理由として、電話勧奨の際に、忙しくて時間がとれない、自分で取り組みをしている、昨年度も利用したから利用しないなどの意見があり、保健指導の実施日に土日夜間を設けて多様な設定をし、興味を持つようなプログラムの検討、経年対象者に対する対策を講ずる必要がある。

26年度は、特定健診受診率向上のため、前年度未受診者でかつ45歳未満の対象者に受診勧奨のはがきを送付した。勧奨はがきを送付した3,301人のうち、180人が特定健診を受診した。26年度の40歳から44歳までの特定健診受診率は24.8%であり、25年度の40歳から44歳までの受診率23.9%に比べて、受診率が若干上昇している。

今後も、下記の対策を講じて特定健診の受診者や特定保健指導の利用者の増加を目指していく。

- イベント等の実施、受診促進のお知らせ通知など、普及啓発の充実を図り、特定健康診査および特定保健指導への理解と関心を高める活動を強化する。
- 特定健康診査未受診者に対し、はがきによる受診勧奨を行う。
- 特定保健指導の実施日に土日夜間を設けて多様な設定をし、利用者の利便性を高める。
- 特定保健指導の経年対象者に対し、支援方法を工夫する。
- 特定保健指導実施前の電話等による勧奨（確認を含む）や予約・予約変更システムの利便性の向上、受診対象者に向けて「初回面接のご案内」を個別に周知する。
- インターネットによる保健指導対応（希望者および聴覚に障害のある方）
- 受診者が健診結果説明を受けてから特定保健指導を利用するまでの期間短縮に努め、特定保健指導の対象となる受診者の健康に対する意識や特定保健指導への参加意欲が時間の経過により薄らぐのを防ぐ。

特定健康診査・特定保健指導実績報告書
平成27年度版（平成26年度実績）
平成28年1月発行

刊行物登録番号
27-1-109

<発行>

東京都北区区民部国保年金課
東京都北区王子本町一丁目15番22号
電話 03(3908)1130(ダイヤルイン)